

スケジュール	
12:30	開場・受付
13:00	あいさつ・趣旨説明
13:10	<p><b>第1部 宝が池の森のかつての姿から現状をたどる ～森の課題を知る～</b></p> <p>江戸時代から現在までの森の変遷を、異なる視点からみつめていきます。徐々に変化する森林(シイ林化やソヨゴ林化)、近年のナラ枯れやシカ害などの急激な変化の実態と、そこに見る森全体の課題について知り、研究者の方々の見解を分かち合います。</p> <p>&lt;話題提供1&gt; 「江戸後期から昭和における宝が池周辺の森林の歴史」：小椋 純一          &lt;話題提供2&gt; 「宝が池周辺の森の移り変わり」と将来の姿」：高原 光          &lt;話題提供3&gt; 「宝が池の森の植生とソヨゴ林の拡大」：長島 啓子          &lt;話題提供4&gt; 「宝が池の森でなにが起こっているのか？          ～ナラ枯れからひもとく・人と森とのかかわり～」：小林 正秀</p>
— 休 憩 —	
14:50	<p><b>第2部 宝が池の森の未来にむけて ～利用と管理を考える～</b></p> <p>五山の送り火「妙・法」を抱き、地域の暮らしを支えてきた森。現代の暮らしの中で、人と森が共に成長できる、森とのかかわり方を見い出すことが大切です。自然学習利用の現状の報告と共に、暮らしとつながる森のあり方を見つめ直し、健全な森を未来へ繋ぐための視点を探ります。</p> <p>&lt;話題提供5&gt; 「次世代へつなぐ身近な自然と暮らしのつながり          ～自然学習の視点から～」：野田 奏栄          &lt;話題提供6&gt; 「森に学ぶ楽しみ、森が示す地域の心」：田中 和博</p>
15:45	<p>&lt;グループトーク&gt; <b>座談会『これからの宝が池の森の姿をかたろう』</b></p> <p>①どんな森になってほしい？ ②宝が池の森で何がしたい？ ③自分たちでできることは・・・          参加者全員による自由な意見交換をおこないます。</p>
16:55	閉会 あいさつ



拡大しつつあるシイの森林。ナラ枯れが進むコナラ・アベマキ林からシイ林への遷移が加速している。



いま宝が池の森は シカが席卷し、草や木の葉、木の皮が食べつくされようとしている

■話題提供者 ※敬称略・発表順

- 小椋 純一：京都精華大学(人文学部) 教授
- 高原 光：京都府立大学(生命環境科学研究科) 教授
- 長島 啓子：京都府立大学(生命環境科学研究科) 助教
- 小林 正秀：京都府立大学(生命環境科学研究科) 特別講師、京都府森林技術センター主任研究員
- 野田 奏栄：(公財)京都市都市緑化協会(宝が池子どもの楽園指定管理者) プレイパーク世話人
- 田中 和博：京都府立大学(生命環境科学研究科) 教授

会場案内

京都府立大学 〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5

<Access>

JR京都駅から

- 地下鉄烏丸線「北山駅」より約600m/「北大路駅」より約800m
- 市バス4番「北園町」より約300m/205番、206番「府立大学前」より約350m

京阪出町柳駅前から

- 市バス1番「府立大学前」より約350m/4番「北園町」より約300m
- 京都バス32番、34番、35番「府立大学前」より約350m

四条河原町から

- 市バス4番「北園町」より約300m/205番「府立大学前」より約350m

● お問い合わせ

(公財)京都市都市緑化協会 (担当：野田・小川・谷川)

〒606-0037 京都市左京区上高野流田町8 宝が池公園子どもの楽園管理事務所

TEL: 075-781-3010 FAX: 075-781-4422

URL: <http://www.kyoto-ga.jp/> E-mail: [kaerusenpai@kyoto-ga.jp](mailto:kaerusenpai@kyoto-ga.jp)

